

24:1 バラムはイスラエルを祝福することが【主】の目にかなうのを見て、これまでのようにまじないを求めに行くことをせず、その顔を荒野に向けた。

24:2 バラムが目を上げると、イスラエルがその部族ごとに宿っているのが見えた。すると、神の霊が彼の上に臨んだ。

24:3 彼は、彼の詩のことばを口にして言った。「ベオルの子バラムの告げたことば。目の開かれた者の告げたことば。

24:4 神の御告げを聞く者、全能者の幻を見る者、ひれ伏し、目の開かれた者の告げたことば。

24:5 なんとすばらしいことよ。ヤコブよ、あなたの天幕は。イスラエルよ、あなたの住まいは。

24:6 それは、広がる谷のよう、また川のほとりの園のようだ。【主】が植えたアロエのよう、また水辺の杉の木のように。

24:7 その手桶からは水があふれ、種は豊かな水に潤う。王はアガグよりも高くなり、王国は高く上げられる。

24:8 彼をエジプトから導き出された神は、彼にとっては野牛の角のようだ。彼は自分の敵の国々を食い尽くし、彼らの骨をかみ砕き、矢をもって撃ち砕く。

24:9 雄獅子のように、また雌獅子のように、彼は身を伏せ、横たわる。だれがこれを起こせるだろう。あなたを祝福する者は祝福され、あなたをのろう者はのろわれる。」

異邦、異教の占い師であるバラムにでさえ、主は働いて、御心を示されました。当然彼はその内容を否定したかったのですが、否定できなかったのです。

ここに全世界を権威を持って治める主の主権があります。

現代の世でも同じ主が働いておられます。たとえクリスチャンが少数派であったとしても、主はそこにご計画を成し遂げて下さる方です。怯むことなく主の力に頼りましょう。主の御心を成し遂げましょう。この世にあって、主の御心を行うチャレンジをしてゆきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

